

大麦管理特報

令和2年5月26日

魚津市
魚津市農業技術者協議会

4月の気温が低めに経過したことから、成熟期は昨年と同じころと見込まれます。コンバインや乾燥調製施設の準備を遅れずに行い、適期刈取りに努めましょう。

また、生育に差がみられることから、穂軸や茎葉の黄化状況や子実水分を確認し、成熟の進んだほ場から順次収穫を行ってください。

1 収穫 ～子実水分30%で収穫開始～

(1) 収穫は、穂軸や茎葉が完全に黄化し、半分程度の穂首が折れ曲がった頃が目安です。子実水分が30%以下となったほ場から開始しましょう。

(2) 収穫期（始期）の予測

刈取り開始の目安	5月30日	5月31日	6月1日	6月2日	6月3日
集落名	東尾崎	蛇田、川縁	吉野	大海寺野	三ヶ、住吉

※成熟期を迎えたほ場から収穫しましょう。

●早刈りは空洞粒になりやすく、刈遅れは硬質粒や熟色不良となりやすいので、適期に刈取りましょう。

2 収穫前の雑草、被害粒及び異物の扱い

- (1) ほ場内に、カラスノエンドウが発生している場合は、収穫前に必ず抜き取ってください。
- (2) 強風による飛来物（金属・プラスチック片等）は、収穫前にはほ場から取り除き、刈取りでの混入を防ぎましょう。



カラスノエンドウの種子や異物が混入するとその選別は困難です。

異物混入のクレームや返品が多くなっていますので、収穫前の除去をお願いします。

(3) 赤かび粒や麦角粒などの被害粒が見られた場合は、別扱いしましょう。

3 乾燥・調製 ～高品質大麦の総仕上げ～

- (1) 刈取後は直ち（4時間以内）に乾燥機に張り込みましょう。
- (2) 2.3ミリの篩目を使用して適正流量を守り、容積重を高めましょう。

異種穀粒の混入を防止するため、コンバインや乾燥調製施設の清掃を徹底しましょう。